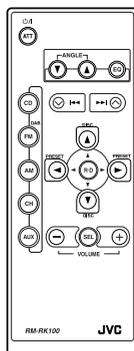
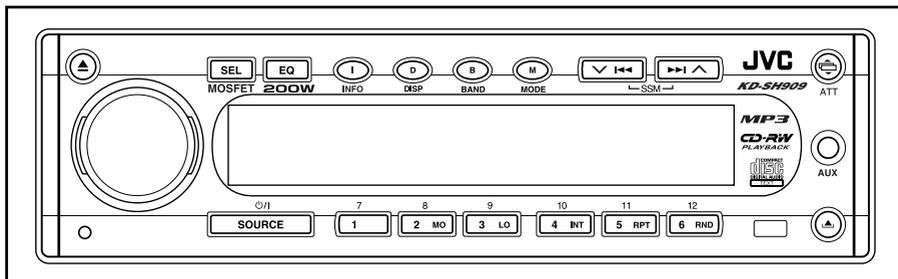


## CDレシーバー

# 型名 KD-SH909 ブラック /-B



— お買い上げありがとうございます —

**!** 使用前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

# もくじ

- 安全上のご注意……………<sup>ページ</sup>3～5
- 使用上のご注意……………6～7
  - ・CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて ……7
- 各部の名前……………8～9
- リモコン(RM-RK100)の  
使いかた……………10～11
  - ・リモコンの使いかた……………10
  - ・電池の入れかた……………10
  - ・各部の名前と働き……………11
- 基本操作……………12～13
  - ・時計を合わせる……………13
- ラジオを聞く……………14～17
  - ・放送局を選ぶ……………14
  - ・放送局を自動でメモリー(記憶)させる ……14
  - ・放送局を選んでメモリー(記憶)させる ……15
  - ・放送局を呼び出す(プリセット選局)……15
  - ・道路交通情報を聞く……………16
  - ・FM放送が雑音で聞きにくいときは ……16
  - ・LOボタンの使いかた(FM放送のみ)……16
  - ・放送受信中の表示内容を変える……………17
  - ・アンテナリモートについて……………17
- CDを聞く……………18～21
  - ・CD-R/CD-RWディスクについて……………19
  - ・CDテキストについて……………19
  - ・ダイレクト演奏……………19
  - ・ランダム演奏/リピート演奏/  
イントロスキャン……………20
  - ・CDのお手入れ……………20
  - ・CD演奏中の表示内容を変える……………21
  - ・CDを取り出す……………21
  - ・CDの盗難防止……………21
- MP3について……………22～23
  - ・MP3フォルダ/MP3ファイルの演奏順序……23
- MP3ディスクを聞く……………<sup>ページ</sup>24～27
  - ・次または前のフォルダにスキップする……25
  - ・同じ階層の次のフォルダにスキップする……25
  - ・上下の階層のフォルダにスキップする……25
  - ・ランダム演奏/リピート演奏/  
イントロスキャン……………26
  - ・ダイレクトフォルダアクセス機能……27
  - ・演奏中の表示内容を変える……………27
- CDチェンジャーのCDを聞く……28～29
  - ・全曲演奏(全曲のくり返し演奏)……28
  - ・数字ボタンでCDを選ぶ……………28
  - ・ランダム演奏/リピート演奏/  
イントロスキャン……………29
  - ・CD演奏中の表示内容を変える……………29
- 他の機器の音を聞く……………30
  - ・LINE IN端子を使うとき……………30
  - ・フロントAUX端子を使うとき……………30
- SELボタンの使いかた……………31～38
  - ・表示窓の時計表示を変える……………32
  - ・レベルメーターの表示切換……………32
  - ・表示窓の明るさを変える……………33
  - ・ピープ音を「オン/オフ」する……………33
  - ・市販のパワーアンプだけで鳴らす……34
  - ・表示窓のコントラストを調節する……34
  - ・文字表示のモードを変える……………35
  - ・サブウーハーのカットオフ周波数切換……35
  - ・放送局名を自動で表示させる……………36
  - ・LINEをソース(音源)に表示されなくする……36
  - ・AUXをソース(音源)に表示されなくする……37
  - ・IFフィルターを切換える(FM放送のみ)……37
  - ・ID3 Tag表示を「オン/オフ」する……38
- MODEボタンの使いかた……………39
- 文字の入力のしかた……………40～41
  - ・文字配列表……………41

- 音量・音質の調節……………<sup>ページ</sup>42～43
  - ・ソース(音源)ごとの音量差を調節する……………43
- EQの使いかた……………44～45
  - ・調節したEQをメモリーしておく……………45
- コントロールパネルの角度を変える……………46
  - ・コントロールパネルの角度(ANGLE)を変える……………46
- コントロールパネルの着脱……………47
- 放送局名一覧……………<sup>ページ</sup>48～51
- 故障かな?と思う前に……………52～53
  - ・こんな表示のときは……………53
- 保証とアフターサービス……………54
- 主な仕様……………55
- お手入れ……………裏表紙

## 安全上のご注意 —はじめにお読みください—

### 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

### ● 絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



一般的指示

# 安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起これば、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

# ⚠ 注意

**本機の通風孔や放熱板をふさがない。**



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

**指定の電池以外は使用しない。**



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。**



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

**電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。**



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**ディスク挿入口に異物を入れない。**



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

**ディスク挿入口に手や指を入れない。**



指をはさまれないよう注意

- ・けがの原因となることがあります。

**本機を車載用以外には使用しない。**



- ・感電やけがの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。  
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL\*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの $\ominus$ 側が車の金属部に接続されていたり、 $\ominus$ 側同士が接続されていると故障の原因になります。

\*BTL：Balanced Transformerlessの略  
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



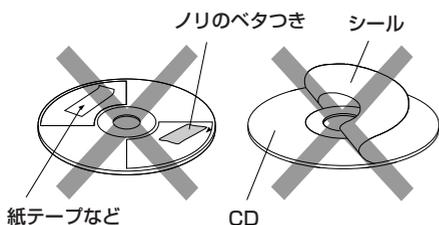
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

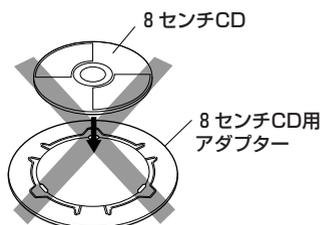
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

## CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**  
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**  
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。**  
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります



- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**  
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**  
8センチCDは、そのまま挿入してください。



- **長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。**

# 各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

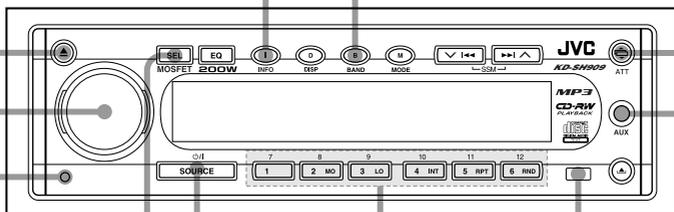
**回転ボリューム** 12 31 42  
音量調節や各種の設定ができます。

**(ANGLE)ボタン、ATTボタン**  
アッテネーター  
MODEボタンと併用すると、コントロールパネルの角度を変えることができます。46  
音量を一時的に下げることができます。12

**▲(CD取出し)ボタン** 18 24  
CDを出し入れするとき使います。

インフォメーション  
**INFOボタン\*** 16  
道路交通情報を聞くとき使います。

バンド  
**BANDボタン** 14  
ソース(音源)が「ラジオ」のとき、FMまたはAM放送の聞きたいバンドを選ぶことができます。



**電源ボタン** 12  
ソース  
**SOURCEボタン** 12

セレクト  
**SELボタン** 13 31 42  
音量・音質調節のモードが選べます。  
2秒以上押すと、時計合わせなどの各種設定モードになります。

**リモコン受光部** 10

**数字ボタン**  
・「CD」「MP3ディスク」「CDチェンジャー」のとき：  
1～12が機能します。19 27 28  
・「ラジオ」のとき：  
1～6が機能します。15

## リセットボタン

内蔵のマイコンをリセットするとき使います。  
・初めて電源を入れたとき  
・どのボタンを押しても動作しなくなったとき

エーコ・エックス  
**AUX端子**(φ3.5ステレオミニ)  
市販のモバイル機器などを接続します。30

\*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

## ◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(▽、△)

ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「CD」「MP3ディスク」 「CDチェンジャー」	「ラジオ」
働 き	曲の頭出しや早送り、早戻しが できます。 <b>18</b> <b>24</b> <b>28</b> 「MP3ディスク」の場合、 <b>MODE</b> ボタンと併用すると次 または前のフォルダにスキップ することができます。 <b>25</b>	放送局を選局するとき使いま す(オート選局/マニュアル選 局)。 <b>14</b> ▽と△ボタンを同時に2秒以 上押し、電波状態の良い放送 局を数字ボタンにメモリーする ことができます(SSM)。 <b>14</b>

イコライザ

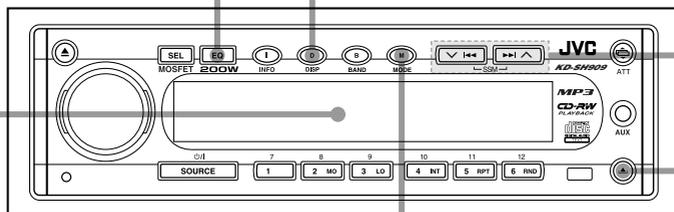
EQボタン **44**

EQのモードにする  
とき使います。

ディスプレイ

DISPボタン **17** **21** **27** **29** **40**

表示窓の表示を変えるとき  
使います。



表示窓(ディスプレイ)

モード

## MODEボタン

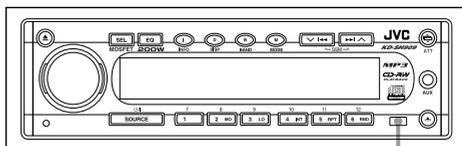
数字ボタンの動きを一時的に  
変えることができます。

**16** **20** **26** **29** **39** **46**△(コントロールパネル取り外し)ボタン **47**

# リモコン(RM-RK100)の使いかた

## リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。



リモコン受光部

## ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

## 電池の入れかた

ボールペンなどで押して取り出す。



## ● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

**各部の名前と働き**

**電源/ATTボタン**

電源の「入」↔「切」ができます。  
電源を「切」にするときは、1秒以上押します。  
電源「入」のとき「ボン」と押すと音量を一時的に下げることができます。

**ラジオ/MP3/CDボタン**

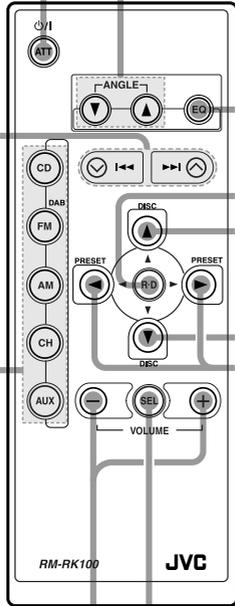
- ・「ラジオ」のとき：  
自動選局ができます。
- ・「CD」「MP3ディスク」  
「CDチェンジャー」のとき：  
曲の頭出しや早送り／早戻し  
ができます。

**ソース(音源)ボタン**

ダイレクトにソース(音源)が選べます。  
CHが「CDチェンジャー」です。AUXボタンを押すと「LINE」と「AUX」が交互に選べます。ただし、本体のSOURCEボタンのように電源の「入」↔「切」はできません。  
(DABの機能はありません)

**VOLUME+、- (音量)ボタン**

音量の調節ができます。  
・+：音量が上がります。  
・-：音量が下がります。



**ANGLEボタン**

コントロールパネルの角度をダイレクトに変えることができます。

**EQボタン**

イコライザーの各パターンがダイレクトに選べます。

**R・Dボタン**

「MP3ディスク」のときルートに戻すことができます。

**DISC▲、▼ボタン**

「CDチェンジャー」のとき、CD1～CD12が選べます。  
「MP3ディスク」のとき上下の階層のフォルダが選べます。

**PRESET▲、▼ボタン**

「ラジオ」のとき、あらかじめプリセットした放送局(1ch～6ch)が選べます。  
「MP3ディスク」のとき前後のフォルダが選べます。

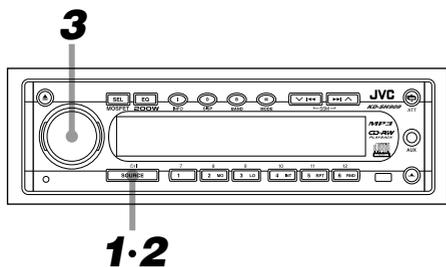
**SELボタン**

押すごとに  
FADER → BAL → EX BASS  
↑ VOLUME ← VOL ADJ ← WOOFER  
が選べます。

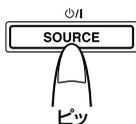
他の機能はありません。

# 基本操作

**準備** ●車のエンジンをかける。

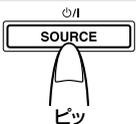


## 1 電源ボタンを押して電源を入れる



・「WELCOME! JVC」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

## 2 SOURCEボタンを「ボン・ボン」と押してソース(音源)を選ぶ



・表示窓にソース(音源)名が表示されます。選ばれ「...」表示が点滅します。

ソース(音源)	参照ページ
AM ↓ FM } 「ラジオ」	14
↓ CD*1	18 24
↓ CDCH*2 「CDチェンジャー」	28
↓ LINE ↓ AUX	30

\*1 本機にCDまたはMP3ディスクが入っているときのみ

\*2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

## 3 回転ボリュームを回して音量を調節する



音量が  
下がる。

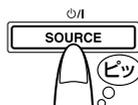
音量が  
上がる。

・調節範囲  
VOLUME 00~VOLUME 50  
(初期設定 VOLUME 15)  
・回転ボリュームはポップアップ式です。押すとツマミが手前に出てきて調節しやすくなります。

●音量を一時的に下げる

⊖ボタンを押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



⊖(電源)ボタンを2秒以上押します。

「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

・2秒以上押し。

●車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作できます。

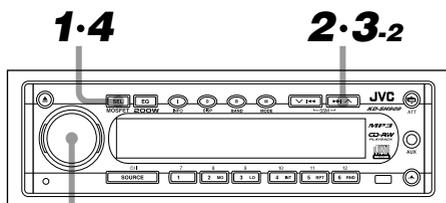
- ・▲(CD取出し)ボタン… CDの出し入れとパネルの開閉
- ・DISPボタン… 5秒間時計表示
- ・▲(コントロールパネル取り外し)ボタン

ただし、電源を入れることはできません。

## 〈お知らせ〉

- ソース(音源)名がCD表示のときは、本機にディスクが入っておりません。またCDCH表示のときは、CDチェンジャーが接続されておりません。
- 「LINE」と「AUX」は、SOURCEボタンを押しても、ソース(音源)に表示されなくすることもできます。→30/37ページ参照
- ▲(CD取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切換わりません。
- 音量・音質の調節は42~43ページをご覧ください。

時計を合わせる



3.1・3.3

1 SELボタンを2秒以上押す



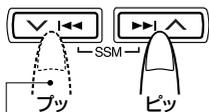
ビツ

・2秒以上押す。

- ・お買い上げ時は「CLOCK H」が表示されます。
- 手順3へ進む
- ・これ以外のときは、選ばれているモードが表示されます。

15秒以内に

2 回転ボリューム(またはI<<<I)ボタンを数回押して「CLOCK H」を選ぶ



フツ

ビツ

逆に選べます。 → **CLOCK H**

15秒以内に

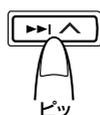
3 回転ボリュームと▶▶Iボタンで現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる  
(12時間表示方式です)

3-1 「時」を合わせる



3-2 「CLOCK M」を選び...



3-3 「分」を合わせる



4 SELボタンを押す



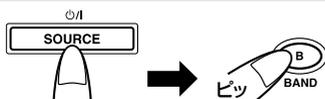
- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。
- SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- 「ラジオ」や「CD」、「CDチェンジャー」のとき時計を表示されなくすることもできます。 → 32ページ参照
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、31~33ページをご覧ください。

# ラジオを聞く

## 1 SOURCEボタンでソース(音源)を「ラジオ」にし、BANDボタンでバンドを選ぶ

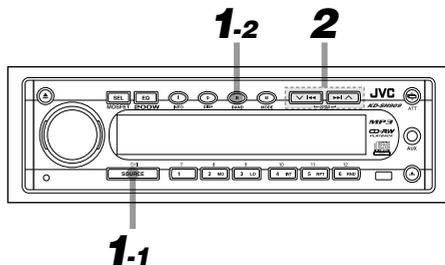


1-1 ビツ

バンドは時計表示部に表示されます。

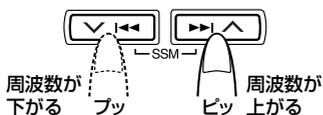
1-2 ビツ

・FM放送：FM1↔FM2  
・AM放送：AM1↔AM2



## 放送局を選ぶ

## 2 選局ボタン(∧または∨)を押して選局する

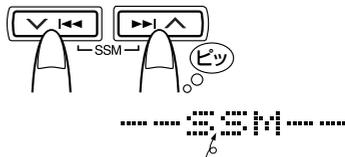


- オート選局：「ポン」と押して離す。(シーク) 周波数表示が変化して、本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局：1秒以上押して「M」を点滅表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。  
・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

## 放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

## 2 選局ボタンの∧と∨を同時に2秒以上押す



終わるまで表示されます。

- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの「7」～「6 mem」にメモリーしていきます。
- ↓
- メモリーし終わると数字ボタン「7」に記憶された放送局が表示されます。
- バンドごとに6局ずつメモリーされます。

## 〈お知らせ〉

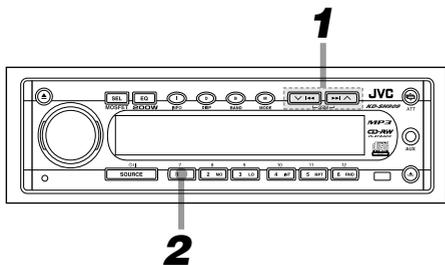
- ソース(音源)を「ラジオ」にするとFM放送はFM1またはFM2、AM放送はAM1またはAM2が表示されます。
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

## 〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドにメモリーしてあった放送局は消えます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→10ページ参照

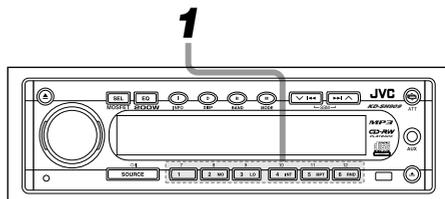
## 放送局を選んでメモリー（記憶）させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



## 放送局を呼び出す（プリセット選局）

数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。



例：FM放送の81.3MHzを  ボタンにメモリーする

### 1 選局ボタン（ または ）でFM81.3MHzを選局する

→ 14 ページの「放送局を選ぶ（オート選局またはマニュアル選局）」参照

### 2 数字ボタンの を 2 秒以上押す



・ 2 秒以上押す。

押した数字ボタンと同じ数字が点滅表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。

## 〈お知らせ〉

- この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

### 1 数字ボタン（1～6）を押して選局する

（プリセット選局といいます）



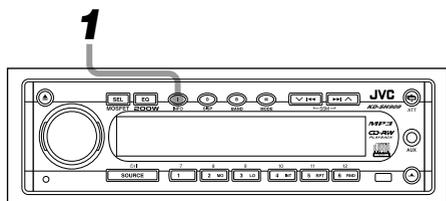
- 数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。  
（数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください）

## ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー（記憶）した放送局は取り消されます。また時計表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や時計を設定し直してください。

# ラジオを聞く(つづき)

## 道路交通情報を聞く



### 1 INFOボタンを押す



... INFO ...  
1620 kHz

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合のみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域のときは、あらかじめINFOボタンにメモリーし直しておくとう便利です。

## FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送を「モノラル受信モード」に切替えます。



表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「オート受信モード」に切替えます。FMステレオ放送を受信すると表示窓に「ST」が表示されます。

## LOボタンの使いかた (FM放送のみ)



・ ローカル「LOCAL」を表示させます。

- ・ オート選局と組み合わせて使うと便利です。「LOCAL」表示中にオート選局をすると、電波の弱い放送局を飛ばして選局することができます。

## 〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、[39](#)ページをご覧ください。

## 放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。

バンド表示



放送局名表示\*

STATION  
が表示されます。

\*「放送局名を自動で表示させる」の操作(⇒38ページ参照)をすると、放送局名が表示されます。

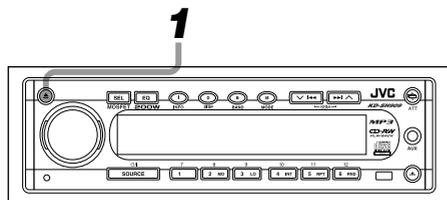
ご利用の地域(エリア)を設定する前は「**NO NAME**」が表示され、5秒後にバンド表示になります。放送局名を表示、または入力したときはバンド表示には切り換わりません。なお、放送局名はスクロール表示されません。

## アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、本機の「アンテナコントロール電源」コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「ラジオ」にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。「CDチェンジャー」や「CD」などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源コードの  
最大コントロール電流は250mAです)

# CDを聞く



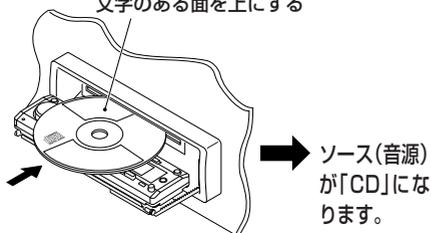
## 1 ▲(CD取出し)ボタンを押す



- ・電源が入りCDの挿入口が現れます。  
(60秒以内に入れないと「ピッピ・ピッピ・ピッピ…」音のあと、自動で閉まります)

## 2 CDを入れる→途中から自動で引き込まれコントロールパネルが閉まる

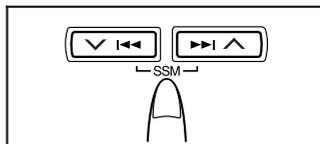
文字のある面を上にする



ソース(音源)が「CD」になります。

- ・「CD」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると総曲数と総演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ・CDが入っていることを表すが表示されます。

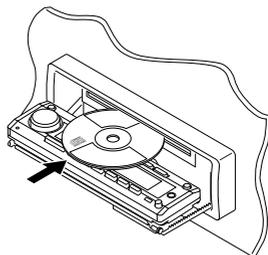
- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。



曲の頭出し (スキップ)	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し (サーチ)	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

## ● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



## 〈お知らせ〉

- 文字のある面に  または 、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

## CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクおよびMP3ファイルが記録されているディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

## ダイレクト演奏

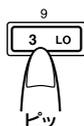
演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。



## ● 1～6 曲目

数字ボタンを「ポン」と押します。

例：3 曲目のとき



## ● 7～12 曲目

数字ボタンを1秒以上押します。

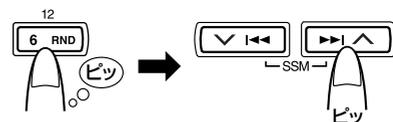
例：12 曲目のとき



## ● 13曲目以上は

▶▶ボタンを併用します。

例：15 曲目



● 1秒以上押す。

(3回押す)

## 〈お知らせ〉

- 英数字、カタカナおよび一部の記号などは、半角で表示されます。

(シフトJIS第一、第二水準の文字が表示されます)

## CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏すると漢字、英数字、カタカナ、ひながなで「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

# CDを聞く(つづき)

## ランダム演奏／リピート演奏／イントロスキャン

### ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



DISC RND

- 表示窓に「RND」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときには、もう一度同じ操作をします。「RANDOM OFF」が表示されます。

### イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



TRACK INT

- イントロスキャン中の曲の曲番号が点滅します。
- 途中でイントロスキャンを解除するときには、もう一度同じ操作をします。「INTRO OFF」が表示されます。
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

### リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



TRACK RPT

- 表示窓に「RPT」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときには、もう一度同じ操作をします。「REPEAT OFF」が表示されます。

### 〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、39ページをご覧ください。

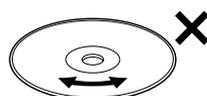
### CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

## CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



\*記録されていないCDでは「NO NAME」表示になり、5秒後にソース(音源)表示に変わります。ディスク名や曲名が記録されているCDではソース(音源)表示には切り替わりません。

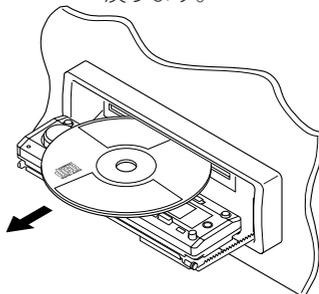
## 〈お知らせ〉

- ディスク名を入力するときは40ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。
- ディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：ONCE(お買い上げ時の状態)になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。  
➡35ページ参照
- CDテキストの文字表示については、漢字、英数字、カタカナ、ひらがなが表示されます。ただし、英数字、カタカナ、一部の記号は半角で表示されます。  
(シフトJIS第一、第二水準の文字が表示)されます

## CDを取り出す



▲(CD取出し)ボタンを押すと、CD挿入口が現われCDが出てきます。CDを取り出した後、もう一度▲(CD取出し)ボタンを押すとコントロールパネルが元の位置に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれ、コントロールパネルが閉まります)

## 〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDを取り出すと30秒後に自動でコントロールパネルが閉まり電源が切れます。

## CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができます。



- 「NO EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができるようになります。

## 〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

# MP 3 について

## MP 3 とは

MP 3 (MPEG Audio Layer 3 の略) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP 3 を使用すれば、元の音楽データを約 10 分の 1 に圧縮できます。詳しくは別冊の「音楽用ファイル MP 3 Q&A 集」をご覧ください。

### ●再生できるメディア

本機は MP 3 形式の CD-ROM またはお客様が編集された CD-R (レコーダブル)、CD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。

ディスクは ISO9660 レベル 1 およびレベル 2 および Joliet でフォーマットされたものが再生可能です。本機ではマルチセッション対応で記録したディスクも再生できます。必ずセッションクローズ処理をしてください。

### ●ID 3 Tag について

ID 3 Tag のバージョン 1.0 と 1.1 (アルバム名、アーティスト名および曲タイトル) を表示することができます。文字種は英数字、ひらがな、カタカナ、漢字です。なお、ID 3 Tag のバージョン 2 には対応していません。

### ●ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角・全角の英数字、カタカナ、一部の記号および全角のひらがな、漢字で入力してください。これ以外で入力されていると正常に表示されません。また、MP 3 ファイルと認識されて再生できるファイルは、MP 3 の拡張子 (.MP 3) がついたものだけです。

## 〈お知らせ〉

- 拡張子 (.MP 3) は、必ず半角で入力してください。全角で入力すると、MP 3 ファイルとして認識されません。
- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイル MP 3 Q&A 集」もご覧ください。

### ●使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名につけられる最大文字数 (区切り文字 “.” と拡張子 \*MP 3 を含む) で ISO9660 では 1 バイト文字を使用したときの文字数です。

- ISO9660 レベル 1 : 12 文字
- ISO9660 レベル 2 : 31 文字
- Joliet : 64 文字

ただし本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大フォルダ階層 : 8 階層
- フォルダ / ファイルの最大総数 : 289

上記のフォーマット以外で書き込まれた MP 3 ファイルは、正常に再生できなかったりファイル名 / フォルダ名が正しく表示されないことがあります。

またライティングソフトによってフォーマットの設定方法が異なることがあります。このようなときは、ライティングソフトのフォーマット設定をもう一度確認のうえ、その取扱説明書に従って正しく設定し直してください。

\* 拡張子とは  
ファイルの種類や記録形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。

### ●圧縮ソフトとライティングソフトの設定

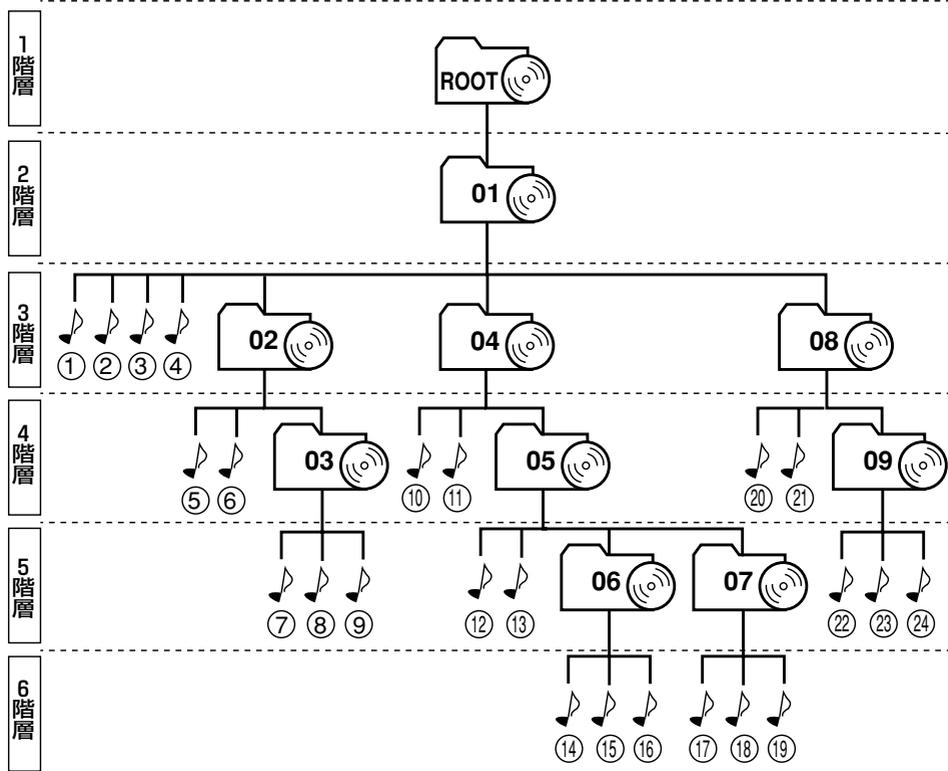
MP 3 ファイルに圧縮するときには、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「128kbps の固定」を推奨します。また最大容量まで記録するときには、追記禁止の設定をしてください。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録するときには「Disc at Once」の設定をしてください。

## 〈お知らせ〉

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイル MP 3 Q&A 集」もご覧ください。

## MP3 フォルダ／MP3 ファイルの演奏順序

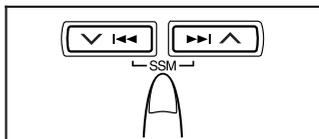
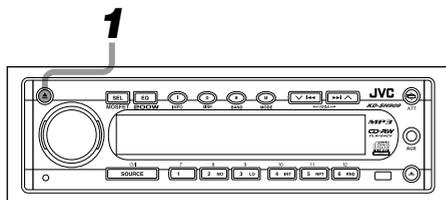


	ルート
	フォルダ
	MP3ファイル (トラック)

## 〈お知らせ〉

- ルートとは、現在開いているMP3ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3ディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A, 01B…など)をつけると、演奏順序を指定できることがあります。

# MP3ディスクを聞く



<b>ファイルの頭出し</b> (スキップ)	<b>▶▶</b> : 押すごとに次のファイルの頭に移ります。 <b>◀◀</b> : 演奏中のファイルの頭に戻ります。押すごとに前のファイルの頭に戻ります。
<b>早送り・早戻し</b> (サーチ)	<b>▶▶</b> : 押し続けている間早送りされます。 <b>◀◀</b> : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

## 1 ▲(CD取出し)ボタンを押す

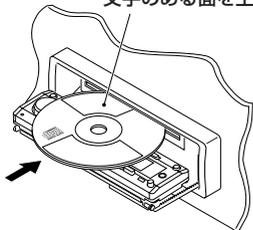


ピッ

- 電源が入りCDの挿入口が現われます。  
 (60秒以内に入れないと「ピッピ・ピッピ・ピッピ…」音のあと、自動で閉まります)

## 2 CDを入れる⇒途中から自動で引き込まれコントロールパネルが閉まる

文字のある面を上にする



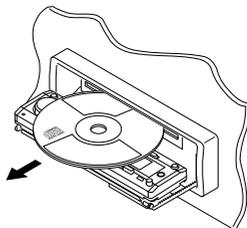
- 8センチCDの入れかたは⑩ページをご覧ください。
- ソース(音源)が「CD」になります。

- 「CD PLAY」表示中は、CDのデータを読み込んでおり、「FILE CHECK」点滅表示のあと、フォルダ数とMP3ファイル数表示に変わり演奏がスタートします。
- CDが入っていることを表すが表示されます。

- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。

## ● CDを取り出すときは

▲(CD取出し)ボタンを押します。CDの挿入口が現われ、CDが出てきます。CDを取出した後、もう一度▲(CD取出し)ボタンを押すとコントロールパネルが元の位置に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれ、コントロールパネルが閉まります)

## 〈お知らせ〉

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。

## 次または前のフォルダにスキップする

(MP3 ファイルがあるフォルダのみ)

### 本体



▶▶ ボタンを2秒以内に押すごとに次のフォルダのファイルの先頭にスキップします。

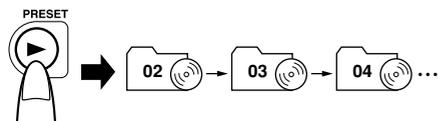


◀◀ ボタンを2秒以内に押すごとに前のフォルダのファイルの先頭にスキップします。

### リモコン

▶ ボタンを1秒以上押すごとに、次のフォルダにスキップします。

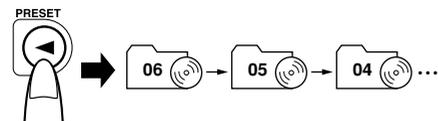
・MP3 ファイルのフォルダ2を演奏中のとき



・1秒以上押す。

◀ ボタンを1秒以上押すごとに、前のフォルダにスキップします。

・MP3 ファイルのフォルダ6を演奏中のとき

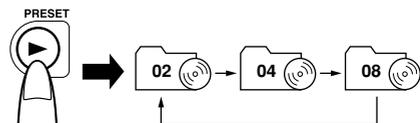


・1秒以上押す。

## 同じ階層の次のフォルダにスキップする

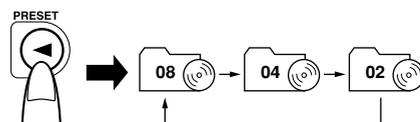
(一つ上のフォルダが同じときに限りリモコンでスキップできます)

・MP3 ファイルのフォルダ2を演奏中のとき



(MP3 ファイルがないフォルダにもスキップ)

・MP3 ファイルのフォルダ8を演奏中のとき

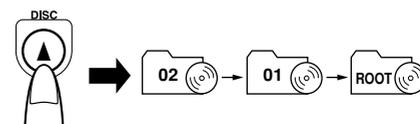


## 上下の階層のフォルダにスキップする

(リモコンのみ)

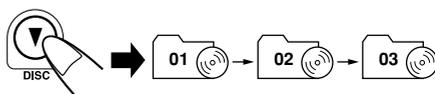
▲ ボタンを押すごとに、上の階層のフォルダにスキップします。

・MP3 ファイルのフォルダ2を演奏中のとき



▼ ボタンを押すごとに、下の階層のフォルダにスキップします。

・MP3 ファイルのフォルダ1を演奏中のとき



● ルートに戻る

リモコンの ルート フィルター R・D ボタンを押すとルートに戻すことができます。

## 〈お知らせ〉

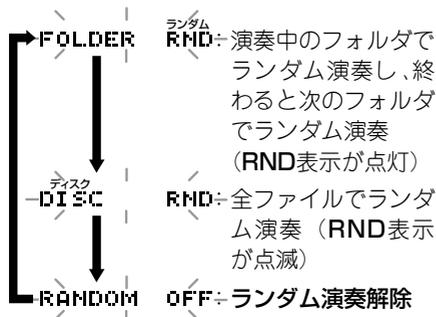
- 24ページの「MP3フォルダ/MP3ファイルの演奏順序」と一緒にご覧ください。

# MP3ディスクを聞く(つづき)

## ランダム演奏／リピート演奏／イントロスキャン

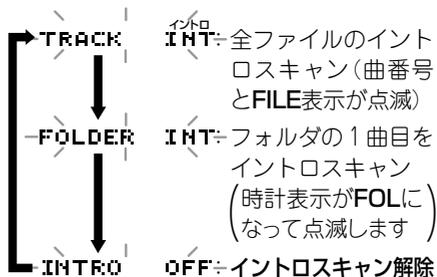
### ランダム演奏

MP3 ディスクの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



### イントロスキャン

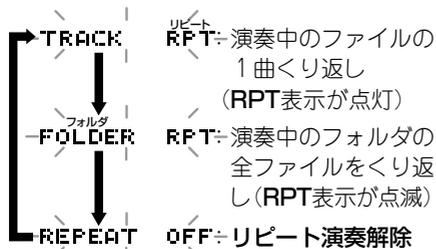
聞きたいファイルが素早く探せます。ファイルの頭を15秒ずつ演奏していきま  
す。  
聞きたいファイルが見つかったら◀◀ボタンを押します。



- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

### リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中のファイルをくり返して聞くことができます。



### 〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、[39](#)ページをご覧ください。

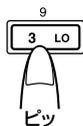
## ダイレクトフォルダアクセス機能

演奏中に聞きたい曲(ファイル)が入っているフォルダに合わせて数字ボタンを押します。すぐそのフォルダに移り演奏がスタートします。



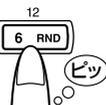
- フォルダ 01～06  
数字ボタンを「ポン」と押します。

例：フォルダ 03  
のとき



- フォルダ 07～12  
数字ボタンを1秒以上押します。

例：フォルダ 12  
のとき



- 1秒以上押す。

## 〈お知らせ〉

- MP3ディスクのフォルダ名の頭に2ケタの数字(01A, 02A…など)をつけておかないとダイレクトに演奏することは、できません。
- フォルダを選択中に、MP3表示が点滅するときは、そのフォルダにMP3ファイルが含まれておりません。MP3ファイルが含まれているフォルダを選んでください。

## 演奏中の表示内容を変える



- DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。

### Tag「オン」のとき(お買い上げの状態)

MP3ファイルがID3 Tagを持っていると、ID3 Tagが表示されます。



\*MP3ファイルがID3 Tagを持っていないときは、フォルダ名とファイル名が表示されます。

### Tag「オフ」に設定してあるとき



(MP3ファイルがID3 Tagを持っていてもID3 Tagは表示されません)

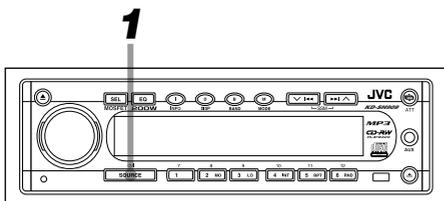
## 〈お知らせ〉

- 表示窓には全角5文字、半角11文字まで表示できます。  
これを超える文字数のときはスクロール表示されます。
- スクロールのモードについては、35ページの「文字表示のモードを変える」をご覧ください。
- Tag「オン/オフ」については38ページをご覧ください。
- ID3 Tagについては24ページをご覧ください。

# CDチェンジャーのCDを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

## 全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



### 1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「CDCH」にする



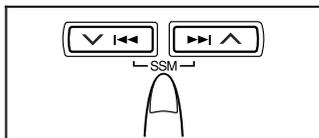
- CDチェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDからの演奏がスタートします。

⋮

- 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。

### ● 演奏を途中でやめる

SOURCEボタンを押して他のソース(音源)に切換えます。または電源を「切」にします。



**曲の頭出し (スキップ)** ▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。

◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

**早送り・早戻し (サーチ)** ▶▶ : 押し続けている間早送りされます。

◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

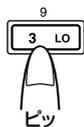
## 数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



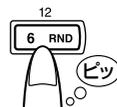
- 1～6 曲目  
数字ボタンを「ポン」と押します。

例：3 枚目のとき



- 7～12 曲目  
数字ボタンを1秒以上押します。

例：12 枚目のとき



● 1秒以上押す。

## <お知らせ>

- DISPボタンを押すと、時計表示が5秒間CD番号の表示に変わります。CD番号が表示されたままにするときは、②ページの「表示窓の時計表示を変える」でCLOCK [OFF] に設定します。

## ランダム演奏/リピート演奏/イントロスキャン

### ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



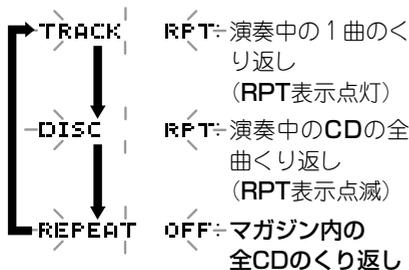
### イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



### リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



### CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



\*ディスク名または曲名が記録されていないと、「NO NAME」表示になり、5秒後にソース(音源)表示に変わります。ディスク名が入力されているCDではソース(音源)表示には切り替わりません。

### 〈お知らせ〉

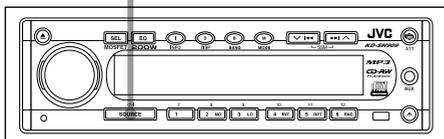
- MODEボタンの使いかたについては、39ページをご覧ください。

# 他の機器の音を聞く

## LINE IN端子を使うとき

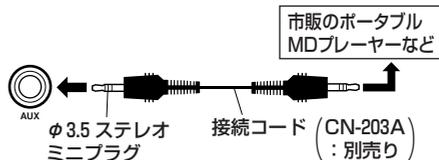
- 準備**
- LINE IN端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照

1・1

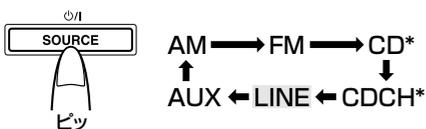


## フロントAUX端子を使うとき

- 準備**
- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



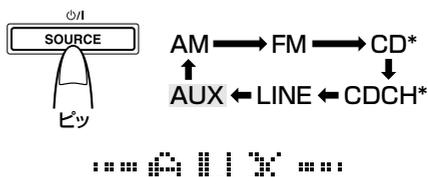
**1** SOURCEボタンを押してソース(音源)を「LINE(ライン入力)」にする



●●● LINE ●●●

- 表示窓が「LINE」表示に変わります。
- \*本機にCD(MP3ディスク)が入っているとき、およびCDチェンジャーが接続されているときのみ

**1** SOURCEボタンを押してソース(音源)を「AUX」にする



- 表示窓が「AUX」表示に変わります。
- \*本機にCD(MP3ディスク)が入っているとき、およびCDチェンジャーが接続されているときのみ

**2** 接続した機器を演奏状態にする

- 接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

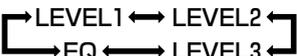
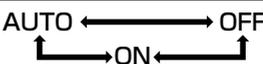
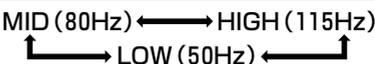
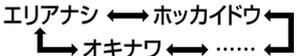
## 〈お知らせ〉

- 「LINE」または「AUX」は、SOURCEボタンを押してもソース(音源)に表示されなくすることができます。→38/37ページ参照
- 「LINE」または「AUX」は接続した機器の名称…TVやMD…を入力し表示させることができます。→40ページ「文字の入力のしかた」参照

# SELボタンの使いかた

## ●SELボタンのモード一覧

他の機器の音を聞く・SELボタンの使いかた

<b>1</b> SELボタンを 2秒以上押す  ピッ	<b>2</b> ▶▶(または◀◀)ボ タンでモードを選 ぶ  モードが逆 に選べます。 ピッ	<b>3</b> 設定する 	参 照 ペ ー ジ	
CLOCK H ↓ CLOCK M ↓ CLOCK ↓ LEVEL/EQ ↓ DIMMER ↓ BEEP SW ↓ P.AMP SW ↓ CONTRAST ↓ SCROLL ↓ CUT OFF F ↓ STATION ↓ LINE IN* <sup>1</sup> ↓ AUX IN* <sup>2</sup> ↓ IF FILTER ↓ TAG DISP	初期設定値	1 → 12 → 11 → ……	1 → 2 → 3 → ……	13
	1 : 00	00 → 59 → 58 → ……	00 → 01 → 02 → ……	
	[ON]	[OFF]	[ON]	32
	LEVEL 1			32
	AUTO			33
	[ON]	[OFF]	[ON]	33
	[ON]	[OFF]	[ON]	34
	05	00 ~ 05 ~ 10		34
	ONCE			35
	MID (80Hz)			35
	エリアナシ			36
	[ON]	[OFF]	[ON]	36
	[ON]	[OFF]	[ON]	37
	AUTO	WIDE	AUTO	37
	[ON]	[OFF]	[ON]	38

\* 1 現在のソース(音源)が「LINE」のときは、表示されません。

\* 2 現在のソース(音源)が「AUX」のときは、表示されません。

# SELボタンの使いかた(つづき)

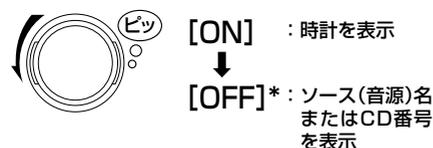
## 表示窓の時計表示を変える

表示窓の右下にソース(音源)名などを表示させることができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** **▶▶**(または**◀◀**)ボタンを数回押して「CLOCK」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを左方向に回して「CLOCK [OFF]」にする



**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

\* ソース(音源)が「LINE IN」または「AUX IN」のときは、時計表示になります。「ラジオ」などのとき時計を表示させるときは、DISPボタンを押します。5秒間表示されます。

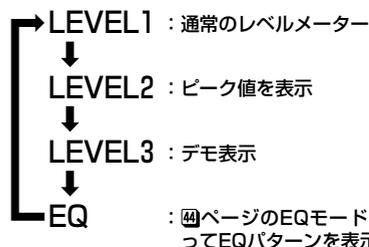
## レベルメーターの表示切換

表示窓右側のレベルメーターの表示を切換えることができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** **▶▶**(または**◀◀**)ボタンを数回押して「LEVEL/EQ」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを右方向に回してレベルメーターのモードを選ぶ



**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## 〈お知らせ〉

- **◀◀**ボタンを押すとSELボタンのモードは逆に選べます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- 設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

## 表示窓の明るさを変える

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

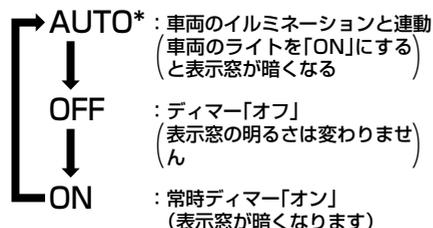
**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「DIMMER」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを右方向に回してディマーのモードを選ぶ



・左方向に回すと逆を選べます。



\*「AUTO」で使うときは、本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミ電源に接続しておきます。

**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

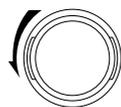
## ビープ音を「オン/オフ」する

ボタン操作時の「ピッ」音を出なくすることができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「BEEP SW」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを左方向に回して「BEEP SW[OFF]」にする



[ON] : ビープ音「オン」

[OFF] : ビープ音「オフ」

・ビープ音「オン」に戻るときは、右方向に回します。

**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

# SELボタンの使いかた(つづき)

## 市販のパワーアンプだけで鳴らす

本機は、内蔵のパワーアンプの「ON↔OFF」が選べます。内蔵パワーアンプを「OFF」にすると、発熱量が押さえられクリアな音を楽しむことができます。

外部アンプの接続が終わったら、電源を入れ次の操作をします。

### 1 SELボタンを2秒以上押す

### 2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「P.AMP SW」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを左方向に回して「P.AMP SW[OFF]」にする



P.AMP SW [ON]  
↓  
P.AMP SW [OFF]

・「P.AMP SW[ON]」に戻すときは右方向に回します。

### 4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## 表示窓のコントラストを調節する

表示窓の表示が見にくいときは、コントラストを調節します。

### 1 SELボタンを2秒以上押す

### 2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「CONTRAST 05」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを回してコントラストを調節する



・「CONTRAST 01～10」の範囲で調節できます。  
運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

### 4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## 文字表示のモードを変える

表示窓の文字表示がスクロール表示されるとき  
のモードを変えることができます。

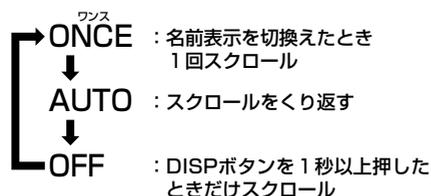
### 1 SELボタンを2秒以上押す

### 2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「SCROLL」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを回してスクロールのモードを選ぶ



・左方向に回すと  
逆に選べます。



### 4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## サブウーハーのカットオフ周波数切換

サブウーハーを接続したときは、低音が最も豊かに聞こえるようにカットオフ周波数を切換えます。お買上げ時は、「MID(80Hz)」に設定されております。

### 1 SELボタンを2秒以上押す

### 2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「CUT OFF F」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを回してカットオフ周波数を選ぶ



・左方向に回すと  
逆に選べます。



・サブウーハーにカットオフ周波数調節があるときは、それに合わせて選びます。

### 4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## 〈お知らせ〉

- 放送局名は、スクロール表示されません。

# SELボタンの使いかた(つづき)

## 放送局名を自動で表示させる

ご利用になる地域の放送局を受信したとき、自動で放送局名を表示させることができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「STATION」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを回してご利用の地域を選ぶ



**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## LINEをソース(音源)に表示されなくする

SOURCEボタンを押したときLINEをソース(音源)に表示されなくすることができます。

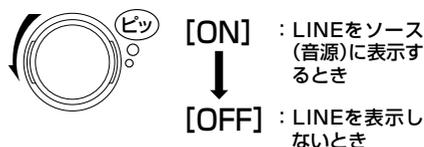
**1** ソース(音源)を「ラジオ」にする

・ソース(音源)が「LINE IN」のままでは、この操作はできません。

**2** SELボタンを2秒以上押す

**3** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「LINE IN」を選ぶ

**4** 回転ボリュームを左方向に回して「LINE IN[OFF]」にする



・[ON]に戻すときは、右方向に回します。

**5** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## 〈お知らせ〉

- ・地域ごとの「放送局名一覧」は49～51ページをご覧ください。

## AUXをソース(音源)に表示されなくする

SOURCEボタンを押したときAUXをソース(音源)に表示されなくすることができます。

# 1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

・ソース(音源)が「AUX IN」のままでは、この操作はできません。

# 2 SELボタンを2秒以上押す

# 3 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「AUX IN」を選ぶ

# 4 回転ボリュームを左方向に回して「AUX IN[OFF]」にする



**[ON]** : AUXをソース(音源)に表示するとき

**[OFF]** : AUXを表示しないとき

・[ON]に戻すときは、右方向に回します。

# 5 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## IFフィルターを切替える(FM放送のみ)

本機のチューナーは、電波の強さや隣接妨害波などにより自動でIFフィルターを切替えています。「WIDE」にすることもできます。

# 1 SELボタンを2秒以上押す

# 2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「IF FILTER」を選ぶ

# 3 回転ボリュームを左方向に回して「WIDE」にする



・右方向に回すと「AUTO」に戻ります。

**AUTO** : 隣接妨害波の有無によって自動でフィルターの帯域幅を変える。(お買上げ時の状態)

**WIDE** : 電波状態が良いとき(広い帯域幅のフィルター)

# 4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

# SELボタンの使いかた(つづき)

## ID 3 Tag表示を「オン／オフ」する

MP 3 ディスクのID 3 Tag表示を「オン／オフ」することができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I (またはI◀◀) ボタンを数回押して「TAG DISP」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを左方向に回して「TAG DISP [OFF]」にする



・「TAG DISP [ON]」に戻すときは右方向に回します。

TAG DISP [ON] : ID 3 Tagを表示するとき

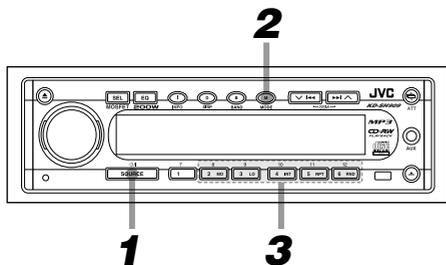


TAG DISP [OFF] : ID 3 Tagを表示しないとき

**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

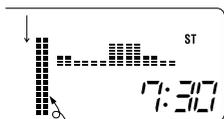
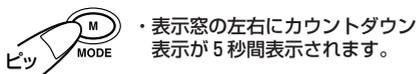
# MODEボタンの使いかた



## 1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を選ぶ



## 2 MODEボタンを押す

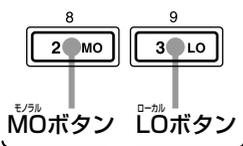


カウントダウン表示(5秒間)

5秒以内に

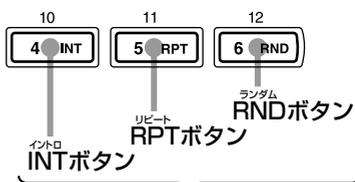
## 3 数字ボタンを押して使いたいモードを選ぶ

・FM放送のとき



→18ページ参照

・CD(MP3ディスク)、CDCHのとき



→20 26 29ページ参照

### ● MP3ディスクの場合

MODEボタンを押したあと、5秒以内に▶▶(または◀◀)ボタンを押すと次または前のフォルダにスキップすることができます。→26ページ参照

### ● コントロールパネルの角度を変える

MODEボタンを押したあと、5秒以内に⊙(ANGLE)ボタンを押すと押すごとにコントロールパネルの角度を変えることができます。→40ページ参照

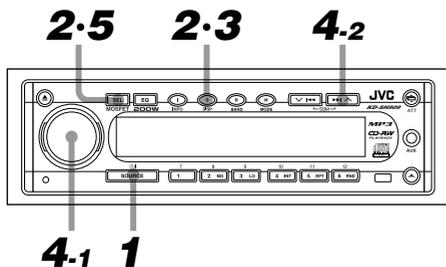
### 〈お知らせ〉

● MODEボタンを押したあとは、5秒以内(カウントダウン表示が消えるまで)に次の操作をしてください。

# 文字の入力のしかた

## 文字の入力と修正・削除

放送局名を30局分／最大11文字、CD/CDチェンジャーは最大32文字、LINEまたはAUXは最大11文字まで入力できます。



### 1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を選ぶ

・ラジオまたはCD、CDチェンジャー、LINE、AUXのいずれかを選びます。

### 2 DISPボタンを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す

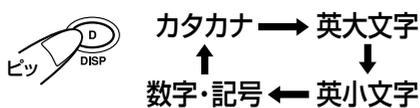
例：ラジオを選んだとき



・押したまま… 2秒以上押す

点滅 (カーソルといます)

### 3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ



・カーソルと文字の種類の間で頭一文字が交互に点滅表示されます。文字の種類については4ページ「文字配列表」をご覧ください。

### 4 回転ボリュームと▶▶▶ボタンで局名を入力する

(4.1と4.2をくり返す)



4.1 文字を選び… 4.2 カーソルを右に移す

- ・文字を間違えたときは、◀◀◀ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。
- ・スペース(空白)を選んで▶▶▶ボタンを押すと、文字を消すこともできます。
- ・LINEおよびAUXのときは、表示窓の上の段に入力した名前が表示されます。LINE INPUTやAUX INPUTの表示は残ります。

30秒以内に

### 5 SELボタンを押して文字を確定する



- ・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。このあとSELボタンを押して確定します。

### 〈お知らせ〉

- ・文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。
- ・31局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が点滅表示されます。

## 文字配列表

## ●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ヱ	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ	
ー	。	。	(空白)						

## ●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

## ●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

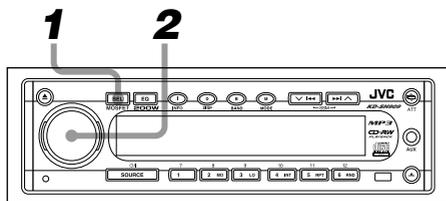
## ●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	。	’	(	)	*
+	,	—	.	/	:	;	<	=	>
?	@	—	`	(空白)					

## 〈お知らせ〉

- 本機は、この文字配列表以外の文字・記号は入力できません。

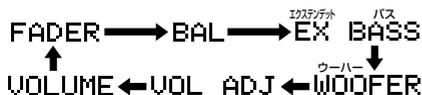
# 音量・音質の調節



## 1 SELボタンを押して調節したい項目を選ぶ



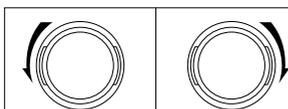
・「ボン・ボン」と押すごとに以下のように変わります。



・音量調節(VOLUME)のみときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

## 2 回転ボリュームを回して音量・音質を調節する



FADER (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
EX BASS (低音増強)	低音増強機能を「オフ」にする	低音増強機能を「オン」にする
WOOFER (サブウーハー)	サブウーハー音量が下がる	サブウーハー音量が上がる
VOL ADJ (ソース間音量)	ソース(音源)の音量を下げる	ソース(音源)の音量を上げる
VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動でソース(音源)の表示に戻ります。

## ● 音量・音質の初期設定状態と調節範囲

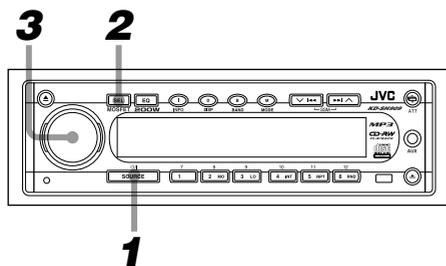
	初期設定	設定範囲
FADER (フェーダー)	00 (センター)	リア <sup>フロント</sup> R06 ~ F06
BAL (バランス)	00 (センター)	リア <sup>フロント</sup> L06 ~ R06
EX BASS (低音増強)	[OFF]	[OFF] ↔ [ON]
WOOFER (サブウーハー)	04	00 ~ 12
VOL ADJ (ソース間音量)	0	0 ± 12
VOLUME (音量)	15	00 ~ 50

## ＜お知らせ＞

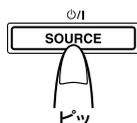
- VOL ADJ (ソース間音量)は、FM放送の音量を基準にしています。したがってソース(音源)がFMのときは、表示窓に「FIX」が表示され調節できません。→43ページ参照
- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- 調節したレベルが表示窓に表示されます。
- WOOFER 07でライン出力とサブウーハー出力が同じになります。WOOFER 00にするとサブウーハーから音が出なくなります。
- SUB WOOFER端子からの出力は、本機のフェーダー調節とは連動しておりません。

## ソース(音源)ごとの音量差を調節する

AM放送やAUXなどの音がFM放送の音より小さい(または大きい)ときは、音量差を調節することができます。



### 1 SOURCEボタンを押して調節したいソース(音源)を選ぶ



・AM、CD(MP3ディスク)、CDCH、LINEまたはAUXから選びます。

### 2 SELボタンを5回押して「VOL ADJ」を選ぶ



VOL ADJ 0  
- [ ] +

レベル表示

・ソース(音源)が「FM1」または「FM2」のときは、表示窓にレベル表示の代わりに「FIX」が表示され調節できません。

5秒以内に

### 3 回転ボリュームを回して音量を調節する



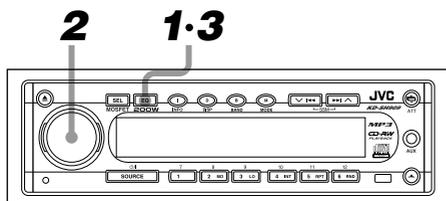
例：+6に上げたとき

VOL ADJ +6  
- [ ] +

・調節から5秒後に、自動でソース(音源)の表示に戻ります。

# EQ\*の使いかた

・本機には、あらかじめ12のEQパターンがメモリーされています。



## ●EQパターンの呼び出し

### 1 EQボタンを選ぶ

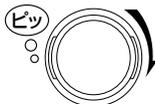


・設定されているEQのモード (お買い上げ時は「FLAT」) が表示されます。

5秒以内に

### 2 回転ボリュームでEQのモードを選ぶ

右方向に  
回したとき

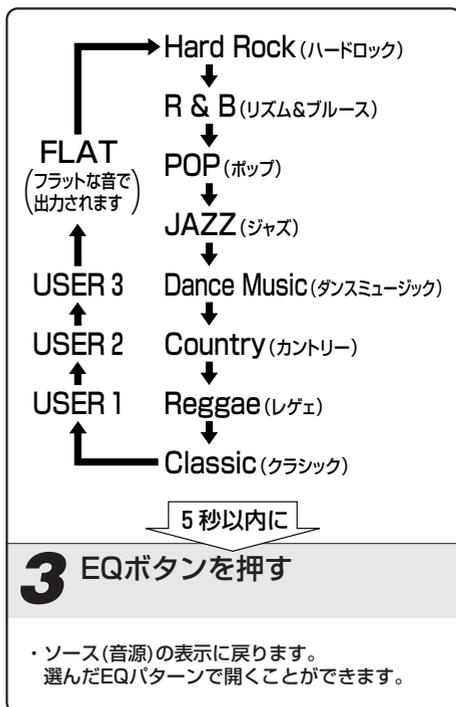


・EQのパターンが表示窓に表示されます。右上のリストは回転ボリュームを右方向に回したときのEQのモードです。

左方向に回すと逆に変わります。

\*EQは：

Equalizer (イコライザー) の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。



### 3 EQボタンを押す

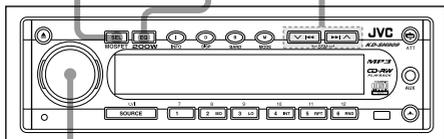
・ソース (音源) の表示に戻ります。  
選んだEQパターンで開くことができます。

## 〈お知らせ〉

- USER 1 ~ USER 3 には、ご自分で調節したEQパターンがメモリーできます。  
→45ページ参照  
お買い上げ時はFLATと同じEQパターンになっています。
- Hard Rock ~ Classic には、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- 「レベルメーターの表示切換」でEQを選ぶと、表示窓の右側にEQパターンが表示されます。→42ページ参照
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンはFLATと同じEQパターンに戻ります。

調節したEQをメモリーしておく

1.1・6.1 2.7 3



1.2・4.6.2

# 1 EQボタン→回転ボリュームでEQのモードを選ぶ

→44ページ手順1・2参照

5秒以内に

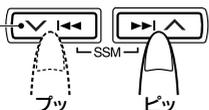
# 2 SELボタンを押してEQの調節モードにする



- ・手順1で選んだEQのモードの中心周波数とLEVELが表示されます。
- ・中心周波数のレベルを表す表示が点滅します。

15秒以内に

# 3 >>>I(またはI<<<)ボタンで中心周波数を選ぶ



逆を選べます。

- ・>>>Iボタンを押して選んだとき

例：FLATのとき

EQ 70 Hz  
LEVEL 00

70Hz  
↓  
150Hz  
↓  
400Hz  
↓  
1kHz  
↓  
2.4kHz  
↓  
6kHz  
↓  
12.5kHz

15秒以内に

# 4 回転ボリュームでLEVELを調節する

・調節範囲  
00±05

15秒以内に

# 5 手順3と4をくり返し、各周波数のLEVELを調節する

15秒以内に

# 6 EQボタン→回転ボリュームでメモリーしておくモード (USER 1～USER 3)を選ぶ

例：USER 1を選んだとき



6.1



6.2

EQ STORE?  
-USER 1-

10秒以内に

点滅

# 7 SELボタンを押す

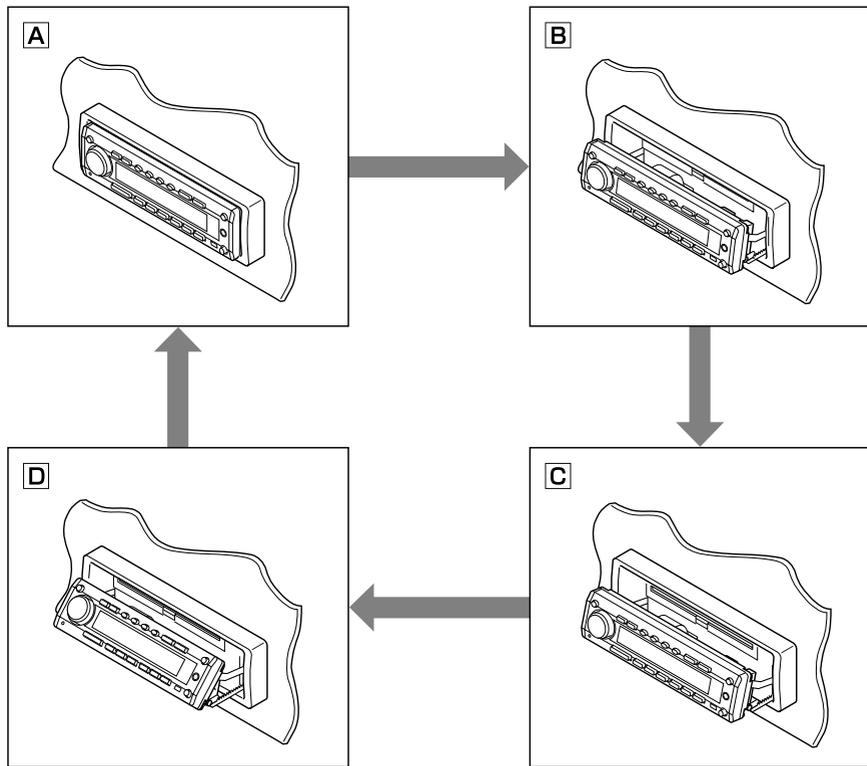
- ・USER 1 に調節したEQのパターンがメモリーされます。
- ・USER 2 と 3 にも同様の手順でメモリーできます。

# コントロールパネルの角度を変える

## コントロールパネルの角度 (ANGLE<sup>アングル</sup>) を変える



⊖ (ANGLE<sup>アングル</sup>) ボタンを押すごとにコントロールパネルの角度が変更されます。このとき表示窓のコントラストも変わります。操作しやすいポジションに合わせて選びます。

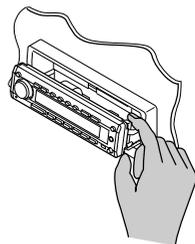


### 〈お知らせ〉

- リモコンのANGLE<sup>アングル</sup>ボタンを押すと、**【A】→【B】→【C】→【D】**の順で角度が変更されます。  
リモコンのANGLE<sup>アングル</sup>ボタンを押すと、**【D】→【C】→【B】→【A】**と逆の順で角度が変更されます。
- コントロールパネルの角度を変えて使っているとき、電源を「切」にするといったん**【A】**の状態に戻ってから電源が切れます。再び電源を入れると、元の角度に戻ります。

### ご注意

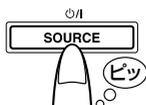
- コントロールパネルが閉まる時指を挟まれないよう注意してください。  
万一、挟まれてしまったときは無理に引き抜かないでください。3秒後に「ピッピッピッ」音のあと、「ERR 06」が表示されコントロールパネルが元に戻ります。



# コントロールパネルの着脱

## コントロールパネルを外す

**1**  (電源) ボタンを2秒以上押して電源を「切」にする

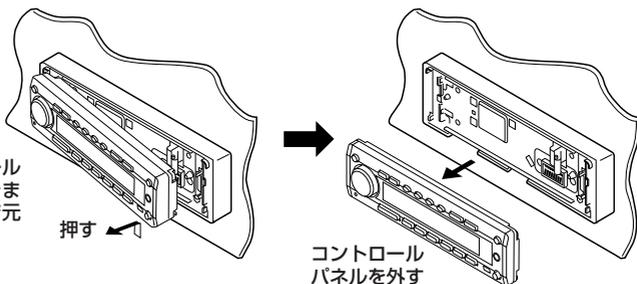


・2秒以上押す。

**2**  (コントロールパネル取り外し) ボタンを押す

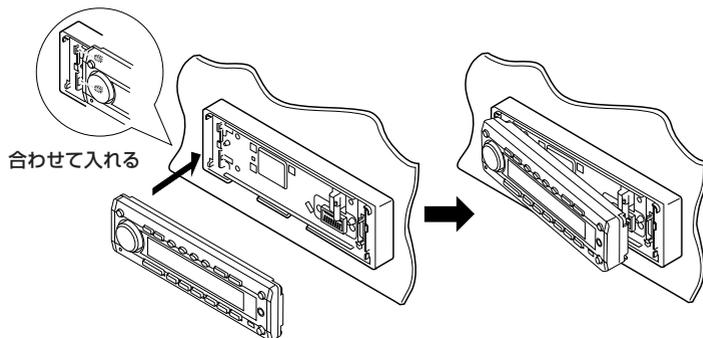


・いったんコントロールパネルが前に出てきます。3秒後に自動で元の位置に戻ります。

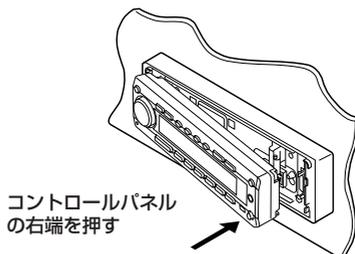


## コントロールパネルを取り付ける

**1** コントロールパネルの左側を本体に合わせて入れる



**2** コントロールパネルの右端を「カチッ」と音がするまで押す



コントロールパネルの角度を変える・コントロールパネルの着脱

# 放送局名一覧

	放送局名	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
	〃	函館	87.0MHz
北海道(AM)	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
NHK第1	北見	1,188kHz	
STVラジオ	旭川	1,197kHz	
HBCラジオ	帯広	1,269kHz	
HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
〃	稚内	1,368kHz	
〃	釧路	1,404kHz	
STVラジオ	札幌	1,440kHz	
HBCラジオ	網走	1,449kHz	
NHK第2	函館	1,467kHz	
HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
NHK第2	旭川	1,602kHz	

	放送局名	場所	周波数	
東北地方(FM)	FM岩手	盛岡	76.1MHz	
	FM仙台	仙台	77.1MHz	
	エフエム青森	青森	80.0MHz	
	FM山形	山形	80.4MHz	
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz	
	NHK-FM	山形	82.1MHz	
	〃	仙台	82.5MHz	
	FM秋田	秋田	82.8MHz	
	NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
	〃	福島	85.3MHz	
東北地方(AM)	〃	青森	86.0MHz	
	〃	秋田	86.7MHz	
	NHK第1	盛岡	531kHz	
	〃	山形	540kHz	
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz	
	NHK第2	秋田	774kHz	
	NHK第1	仙台	891kHz	
	山形放送	山形	918kHz	
	秋田放送	秋田	936kHz	
	NHK第1	青森	963kHz	
NHK第2	仙台	1,089kHz		
青森放送	青森	1,233kHz		
東北放送	仙台	1,260kHz		
関東地方(AM)	NHK第1	福島	1,323kHz	
	NHK第2	盛岡	1,386kHz	
	ラジオ福島	福島	1,458kHz	
	NHK第1	秋田	1,503kHz	
	NHK第2	山形	1,521kHz	
	AFN	三沢	1,575kHz	
	NHK第2	福島	1,602kHz	
	関東地方(FM)	インター FM	東京	76.1MHz
		FM 栃木	宇都宮	76.4MHz
		放送大学	東京	77.1MHz
BAY-FM		船橋	78.0MHz	
FM-FUJI		三ツ峠	78.6MHz	
放送大学		前橋	78.8MHz	
NACK 5		さいたま	79.5MHz	
TOKYO FM		東京	80.0MHz	
NHK-FM		宇都宮	80.3MHz	
〃		千葉	80.7MHz	

	放送局名	場所	周波数
関東地方(FM)	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	∕	横浜	81.9MHz
	∕	東京	82.5MHz
	∕	水戸	83.2MHz
関東地方(FM)	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
	NHK-FM FM群馬	さいたま 前橋	85.1MHz 86.3MHz
関東地方(AM)	NHK第1	東京	594kHz
	NHK第2	∕	693kHz
	AFN	∕	810kHz
	TBSラジオ	∕	954kHz
	文化放送	∕	1,134kHz
	茨城放送	水戸	1,197kHz
	ニッポン放送 ラジオ日本 栃木放送	東京 横浜 宇都宮	1,242kHz 1,422kHz 1,530kHz
中部地方(FM)	FM福井	福井	76.1MHz
	FM新潟	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	FM Port*1	新潟	79.0MHz
	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高山	80.0MHz
	FM石川	金沢	80.5MHz
	中部地方(FM)	FM AICHI	名古屋
NHK-FM		富山	81.5MHz
∕		金沢	82.2MHz
∕		新潟	82.3MHz
∕		名古屋	82.5MHz
FMとやま		富山	82.7MHz
FM-FUJI		坊ヶ峰	83.0MHz
NHK-FM		福井	83.4MHz
∕		岐阜	83.6MHz
∕		長野	84.0MHz
∕	甲府	85.6MHz	
∕	静岡	88.8MHz	

	放送局名	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	静岡	639kHz
	NHK第1	富山	648kHz
	∕	名古屋	729kHz
	北日本放送	富山	738kHz
	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	長野	819kHz
	NHK第1	新潟	837kHz
	福井放送	福井	864kHz
	NHK第1	静岡	882kHz
	NHK第2	名古屋	909kHz
中部地方(AM)	NHK第1	福井	927kHz
	∕	甲府	927kHz
	NHK第2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	長野	1,098kHz
	北陸放送	金沢	1,107kHz
	新潟放送	新潟	1,116kHz
	NHK第1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	金沢	1,386kHz
近畿地方(FM)	静岡放送	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	長野	1,467kHz
	∕	福井	1,521kHz
	∕	新潟	1,593kHz
	∕	甲府	1,602kHz
	FM CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM*2	姫路	77.6MHz
	FM三重	津	78.9MHz
FM 802	大阪	80.2MHz	
近畿地方(FM)	NHK-FM	津	81.8MHz
	∕	京都	82.8MHz
	∕	大津	84.0MHz
	∕	和歌山	84.7MHz
	FM大阪	大阪	85.1MHz
	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	∕	奈良	87.4MHz
	∕	大阪	88.1MHz
	FM京都	京都	89.4MHz
	Kiss-FM*2	神戸	89.9MHz

● 放送局名について

\* 1は新潟県民エフエムです。

\* 2はKiss-FM KOBEです。

# 放送局名一覧(つづき)

	放送局名	場所	周波数
近畿地方(A.M.)	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	京都	621kHz
	∕	大阪	666kHz
	NHK第2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	∕	1,008kHz
	KBS京都	京都	1,143kHz
中国地方(A.M.)	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	∕	1,314kHz
	和歌山放送	和歌山	1,431kHz
中国地方(F.M.)	FM岡山	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	松江	77.4MHz
	広島FM	広島	78.2MHz
	FM山口	山口	79.2MHz
	NHK-FM	松江	84.5MHz
	∕	山口	85.3MHz
中国地方(A.M.)	NHK第1	岡山	603kHz
	∕	山口	675kHz
	NHK第2	広島	702kHz
	山口放送	徳山	765kHz
	山陰放送	米子	900kHz
	NHK第1	下関	1,026kHz
中国地方(A.M.)	NHK第1	広島	1,071kHz
	NHK第2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	松江	1,296kHz
	中国放送	広島	1,350kHz
	NHK第1	鳥取	1,368kHz
	NHK第2	山口	1,377kHz
四国地方(F.M.)	∕	岡山	1,386kHz
	山陽放送	岡山	1,494kHz
	AFN	山口	1,575kHz
	NHK第2	松江	1,593kHz
	FM香川	高松	78.6MHz
	FM愛媛	高松	79.7MHz
FM徳島	徳島	80.7MHz	
FM高知	高知	81.6MHz	
NHK-FM	徳島	83.4MHz	

	放送局名	場所	周波数
四国地方(A.M.)	NHK-FM	高松	86.0MHz
	∕	高知	87.5MHz
	∕	松山	87.7MHz
九州地方(F.M.)	高知放送	高知	900kHz
	NHK第1	徳島	945kHz
	∕	松山	963kHz
	∕	高知	990kHz
	NHK第2	高松	1,035kHz
	南海放送	松山	1,116kHz
九州地方(F.M.)	NHK第2	高松	1,152kHz
	四国放送	徳島	1,269kHz
	NHK第1	高松	1,368kHz
	西日本放送	∕	1,449kHz
	NHK第2	松山	1,512kHz
	Love FM	福岡	76.1MHz
FM中九州	熊本	77.4MHz	
九州地方(F.M.)	FM佐賀	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM鹿児島	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
FM宮崎	宮崎	83.2MHz	
NHK-FM	長崎	84.5MHz	
∕	福岡	84.8MHz	
∕	熊本	85.4MHz	
九州地方(A.M.)	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz
	∕	北九州	85.7MHz
	∕	佐世保	86.0MHz
	∕	宮崎	86.2MHz
	FM大分	大分	88.0MHz
	NHK-FM	∕	88.9MHz
九州地方(A.M.)	NHK第1	宮崎	540kHz
	∕	鹿児島	576kHz
	∕	福岡	612kHz
	NHK第1	大分	639kHz
	∕	長崎	684kHz
	∕	熊本	756kHz
NHK第2	熊本	873kHz	

	放送局名	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	大牟田	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	◇ KBCラジオ NHK第2 ◇ AFN	鹿児島 福岡 大分 宮崎 佐世保	1,386kHz 1,413kHz 1,467kHz 1,467kHz 1,575kHz
沖縄 (FM)	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	◇	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	◇	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	◇	864kHz
	NHK第2	◇	1,125kHz

# 故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットボタンを押す。(⇒8ページ参照) (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)</li> </ul>
CDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量を適度に調節する。</li> <li>● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。</li> </ul>
ディスクが出てきてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクの読み取りでエラーが発生しています。 →ディスクを入れ直す。または他のディスクを入れて本機が異常でないかを確認する。</li> </ul>
CD-R/CD-RWディスクの再生、スキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理する。</li> </ul>
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナの接続を確認する。またはアンテナが十分に伸びているか確認する。</li> <li>● アンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コードを正しく接続する。</li> <li>● 放送局の周波数に正しく合わせる。</li> <li>● 携帯電話などを本機から離す。</li> </ul>
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクの出し入れのときは、音声にミュートンクをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。</li> </ul>
電源を切ったが違うソース(音源)に変わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源(電源)ボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…2秒以上…押す。</li> </ul>
電源が入らない。 (DISPボタンを押すと)時計は表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「電源(ACCライン)」のコードが接続されていないため。</li> </ul>
CDの取り出しができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 盗難防止状態になっている。 →盗難防止状態を解除する。(⇒21ページ参照)</li> </ul>

## 〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

## こんな表示のときは

表示	原因・処置
NO DISCまたは EJECT ERR <small>エラー</small> (CDの取り出しが できない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDが正しく挿入されなかったため。 →  (ANGLE) ボタンを押したまま  (CD取出し) ボタンを同時に2秒以上押す。このとき入っていたCDが飛び出しますので落とさないよう、ご注意ください。</li> </ul>
ERR 00~ ERR 44  のいずれかが表示 される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コントロールパネル動作のエラー表示です。 → コントロールパネルの周囲が車体の他の部分に当たっていないか確認し、もう一度  (CD取出し) ボタンまたは <b>MODE</b> ボタンを押したあと  (ANGLE) ボタンを押す。 → リセットボタンを押す(時計や放送局のメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)。 → リセットボタンを押しても直らないときは、指定以外の長さの取付ネジを使用していないか確認する。</li> </ul>
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク名や曲名、放送局名が記録されていないとき <b>DISP</b> ボタンを押したため。</li> </ul>
HIGH TEMP	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の内部の温度が異常に高くなっている。 →  (CD取出し) ボタンを押したあとラジオに切換えて温度が下がるのを待つ。</li> </ul>
LOAD ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDが正しく挿入されなかったとき。 → CDの表面にキズや汚れがないか確認し、入れ直す。</li> </ul>
NO FILES	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽以外のCD(データCD)を挿入したとき。</li> </ul>
NO EJECTが点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 盗難防止状態になっている。 → 盗難防止状態を解除する。(→  21 ページ参照)</li> </ul>
● CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 → CDチェンジャーとの接続コードを確認する。</li> </ul>
RESET <small>数字</small> ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 → CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。</li> </ul>

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間  
お買い上げの日から1年間

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧ください。

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

52～53ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

### 保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎( ) -

# 主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング  
周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102 dB

## チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1  
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
  - 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
  - 実用感度：14.3dBf(1.43 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
- AMチューナー部
  - 受信周波数：522kHz～1,629kHz
  - 実用感度：27dB $\mu$ (22.4 $\mu$ V)

## オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W  
(4 $\Omega$ , 1kHz)  
リア 50W+50W  
(4 $\Omega$ , 1kHz)
- 適合インピーダンス：4 $\Omega$ (4 $\Omega$ ～8 $\Omega$ で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1  
LINE IN(1系統)  
AUX( $\phi$ 3.5ステレオミニ)  
×1
- 出力端子：LINE OUT(2系統)、  
SUBWOOFER(1系統)

## 電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)  
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行161mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行179mm
- 質量：約1.8kg(付属品含まず)

## 付属品

- ・リモコン(RM-RK100)…………… 1
- ・電池(CR2025)…………… 1
- ・接続コード(16ピンコネクター)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 4

## 別売りアクセサリ

- ・クリーニングキット：CK-25(CD用)
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)  
CN-510E(長さ1m)  
CN-520E(長さ2m)
- ・接続コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)

# お手入れ

## 本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。

汚れがひどいときは、水または**中性洗剤**を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

### ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに  
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の  
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」  
をご覧ください。

**F** 0120-977846 (フリーコール)  
FAX (027) 254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

# JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

## 日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎(027) 254-8926